

平成22年8月期 第3四半期決算短信

平成22年7月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ファーストリテイリング
 コード番号 9983 URL <http://www.fastretailing.com/jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長
 問合せ先責任者 (役職名) グループ執行役員 CFO
 四半期報告書提出予定日 平成22年7月15日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 柳井 正
 (氏名) 大西 秀亜

TEL 03-6862-9983

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年8月期第3四半期の連結業績(平成21年9月1日～平成22年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年8月期第3四半期	659,057	22.7	123,493	27.1	118,986	30.0	67,184	35.2
21年8月期第3四半期	537,025	—	97,191	—	91,547	—	49,691	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年8月期第3四半期	660.06	—
21年8月期第3四半期	487.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年8月期第3四半期	509,901	314,924	61.2	3,067.81
21年8月期	463,285	261,413	56.0	2,550.86

(参考) 自己資本 22年8月期第3四半期 312,257百万円 21年8月期 259,639百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年8月期	—	75.00	—	85.00	160.00
22年8月期	—	115.00	—	—	—
22年8月期 (予想)	—	—	—	115.00	230.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年8月期の連結業績予想(平成21年9月1日～平成22年8月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	815,000	19.0	133,000	22.4	127,000	25.4	67,500	35.6	663.16

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 ― 社 (社名) 除外 ― 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年8月期第3四半期 106,073,656株 21年8月期 106,073,656株

② 期末自己株式数 22年8月期第3四半期 4,288,655株 21年8月期 4,288,346株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年8月期第3四半期 101,785,128株 21年8月期第3四半期 101,849,519株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景、前提条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成21年9月1日～平成22年5月31日）におけるわが国の経済は、海外経済の回復による輸出が増加するなど明るい兆しもみられた一方、企業収益や設備投資は低水準にとどまり、個人所得が伸び悩みな消費者の節約志向が続くなど、厳しい事業環境が続いております。

国内においては、少子高齢化により衣料品の大きな購買層である若年層の購買力が低下していることから、市場規模の縮小が続いております。また、高いファッション性と低価格を強みとする欧米の大手アパレル小売企業が日本を含むアジア市場へ本格的に出店を開始したことから、厳しい競合環境が続くことが予想されます。

このような環境下において当社グループは、「2020年に世界No.1のアパレル製造小売グループになる」ことを目標に、「グローバル化、グループ化、再ベンチャー化」を進めております。特に海外におけるユニクロ事業の拡大に注力しております。当第3四半期までの取り組みとしては、中国・香港、韓国、シンガポールといったアジア地区でのユニクロの店舗数を117店舗まで拡大し、事業基盤を強化しております。また、グローバル旗艦店2店舗（2009年10月に「パリ オペラ店」、2010年5月に「上海 南京西路店」）を出店することで、海外市場におけるユニクロのブランドポジションの確立を図っております。商品開発では、素材メーカーとの協働により、機能性素材を使ったヒートテック、サラファイン、シルキードライといった商品を開発し、需要を拡大しております。また、デザイナーのジル・サンダー氏との取り組みによる「+J」（プラス・ジェイ）を世界中のユニクロで販売することで、ユニクロのブランド力を高めることに傾注しております。

国内ユニクロ事業においては、第2四半期までは冬物の新商品であるプレミアムダウンウルトラライトジャケット、生産数量を拡大したヒートテックなどの販売が好調に推移したことに加え、11月に実施した「ファーストリテイリング創業60周年記念キャンペーン」など積極的な販促活動を展開したことにより、大幅な増収増益を達成いたしました。当第3四半期連結会計期間（平成22年3月1日～平成22年5月31日）は天候不順の影響により客数が減少し、また、1品単価の低いインナー商品などの売上構成比が高まったことにより、客単価も前年を下回り、既存店売上高は前年比で減収となっております。なお国内ユニクロ事業の当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高4,975億円（前年同期比15.0%増）、営業利益1,171億円（同21.4%増）となりました。店舗数につきましては、前年度末より直営店75店舗を出店、36店舗を閉店した結果、当第3四半期期末の店舗数は809店舗（フランチャイズ店20店舗含む）となりました。出店した75店舗のうち31店舗は大型店であり、当第3四半期期末における大型店は102店舗となっております。

海外ユニクロ事業では、特にアジア地域で事業規模が順調に拡大しております。欧米でも、ユニクロの知名度が高まり、1店舗当たりの売上高、および収益性が改善しております。この結果、当第3四半期連結累計期間の海外ユニクロ事業の業績につきましては、売上高586億円（前年同期比108.3%増）、営業利益65億円（前年同期比245.4%増）と大幅な増収増益を達成しております。当第3四半期期末のアジア地区の店舗数は117店舗と、前年度末の76店舗から大幅に増加いたしました。その内訳は2010年5月15日にオープンした上海グローバル旗艦店を含み中国で53店舗、香港13店舗、韓国48店舗、シンガポール3店舗となっております。欧州では、2009年10月にオープンしたパリのグローバル旗艦店が順調な売上を維持していること、英国では「+J」の販売効果により1店舗当たりの売上高が高まり、収益性が改善しております。なお2010年4月に新規出店国となるロシアへ1号店を出店いたしました。

国内関連事業については、低価格衣料のジーユー事業が引き続き好調な業績を維持していることから、当第3四半期連結累計期間の業績は、ほぼ計画通りとなっております。ジーユー事業は2009年3月から発売を開始した「990円ジーンズ」が大きな話題を集めたことで、1店舗当りの売上高が拡大し、収益性が飛躍的に向上しております。また、当第3四半期連結累計期間では47店舗の出店により当第3四半期期末の店舗数は118店舗に達するなど、順調な出店が進んでおります。なお靴事業は、フットパーク店舗の整理縮小を終了したことから、4月1日付で株式会社ユニクロへ統合いたしました。またキャビン事業は、ファッションアパレル業界の消費不振の波を受けて、既存店売上高の前年割れが続いております。

グローバルブランド事業は、2009年第3四半期から株式会社リンク・セオリー・ホールディングス（現 株式会社リンク・セオリー・ジャパン）を新規に連結したことから当第3四半期連結累計期間の業績は大幅な増収増益となっております。セオリー事業は日米で既存店売上高が増収となり回復基調に転じております。また日本のセオリー事業では円高によるコスト低減メリットによる採算改善により営業利益は大幅な増益となっております。コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセスタム・タム事業は計画通りの業績が推移しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,590億円（前年同期比22.7%増）、営業利益1,234億円（同27.1%増）、経常利益1,189億円（同30.0%増）、当期純利益671億円（同35.2%増）と大幅な増収増益を達成いたしました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（1）資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は5,099億円となり、前連結会計年度末に比べ466億円の増加となりました。これは、売上増による営業キャッシュフローの増加により現金及び預金が227億円増加したこと、並びに受取手形及び売掛金が145億円、有価証券が153億円増加したことが主な要因となっています。

負債は1,949億円となり、前連結会計年度末に比べ68億円の減少となりました。これは主として、借入金が71億円減少したことによるものです。

純資産は3,149億円となり、前連結会計年度末に比べ535億円の増加となりました。これは主として、利益剰余金が468億円増加したことによるものです。

（2）キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローの状況につきましては、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます）は、前連結会計年度末に比べ、372億円増加し、2,067億円となりました。

営業活動によるキャッシュフローは、819億円の獲得（前年同期は641億円の獲得）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益1,174億円によるものです。

投資活動によるキャッシュフローは、160億円の使用（前年同期は295億円の使用）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出121億円によるものです。

財務活動によるキャッシュフローは、266億円の使用（前年同期は151億円の使用）となりました。これは主として、配当金の支払額202億円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績見通しにつきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を考慮し、連結売上高・営業利益を、以下のとおり減額修正いたします。

なお平成22年4月8日付「平成22年8月期 第2四半期決算短信」で発表いたしました通期の連結業績予想との差異は以下のとおりです。

（通期）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回修正予想（A）	834,000	140,500	134,500	71,000	697	55
今回修正予想（B）	815,000	133,000	127,000	67,500	663	16
増減額（B－A）	△19,000	△7,500	△7,500	△3,500	—	
増減率（%）	△2.3	△5.3	△5.6	△4.9	—	
前期実績	685,043	108,639	101,308	49,797	488	96

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合については、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用しております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	66,653	43,876
受取手形及び売掛金	29,741	15,213
有価証券	141,261	125,875
たな卸資産	71,695	74,580
繰延税金資産	19,447	22,187
未収還付法人税等	737	4,771
その他	15,044	11,842
貸倒引当金	△158	△175
流動資産合計	344,422	298,171
固定資産		
有形固定資産	52,926	45,946
無形固定資産		
のれん	33,717	39,399
その他	16,175	15,913
無形固定資産合計	49,893	55,312
投資その他の資産	62,658	63,854
固定資産合計	165,478	165,114
資産合計	509,901	463,285
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	62,502	56,930
短期借入金	8,275	11,775
1年内返済予定の長期借入金	7,179	3,098
未払法人税等	28,203	27,022
為替予約	28,311	40,846
引当金	455	1,665
その他	39,212	34,263
流動負債合計	174,140	175,602
固定負債		
長期借入金	10,254	17,980
引当金	366	1,130
その他	10,214	7,158
固定負債合計	20,835	26,269
負債合計	194,976	201,871

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,273	10,273
資本剰余金	5,000	5,000
利益剰余金	342,269	295,442
自己株式	△16,258	△16,254
株主資本合計	341,285	294,462
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△11,055	△9,353
繰延ヘッジ損益	△16,853	△24,289
為替換算調整勘定	△1,119	△1,179
評価・換算差額等合計	△29,028	△34,822
少数株主持分	2,667	1,774
純資産合計	314,924	261,413
負債純資産合計	509,901	463,285

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成21年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日)
売上高	537,025	659,057
売上原価	267,447	314,885
売上総利益	269,578	344,172
販売費及び一般管理費	172,386	220,678
営業利益	97,191	123,493
営業外収益		
受取利息及び配当金	733	259
違約金収入	201	106
その他	504	338
営業外収益合計	1,439	704
営業外費用		
支払利息	751	431
持分法による投資損失	1,383	—
為替差損	4,318	3,957
その他	630	822
営業外費用合計	7,083	5,211
経常利益	91,547	118,986
特別利益		
受取和解金	14	11
事業整理損失引当金戻入額	—	210
その他	31	159
特別利益合計	45	381
特別損失		
固定資産除却損	474	617
店舗閉鎖損失	451	266
減損損失	197	—
事業整理損失引当金繰入額	2,198	—
事業撤退損	—	382
その他	124	683
特別損失合計	3,446	1,949
税金等調整前四半期純利益	88,146	117,418
法人税、住民税及び事業税	38,950	50,369
法人税等調整額	△768	△1,065
法人税等合計	38,182	49,304
少数株主利益	273	929
四半期純利益	49,691	67,184

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成21年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	88,146	117,418
減価償却費及びその他の償却費	6,915	8,757
減損損失	197	—
のれん償却額	4,331	5,604
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	14	623
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	53	63
その他の引当金の増減額 (△は減少)	2,217	△956
受取利息及び受取配当金	△733	△259
支払利息	751	431
為替差損益 (△は益)	1,237	1,446
持分法による投資損益 (△は益)	1,383	—
固定資産除却損	474	617
売上債権の増減額 (△は増加)	△12,251	△14,801
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,157	1,540
仕入債務の増減額 (△は減少)	13,202	6,096
その他の資産の増減額 (△は増加)	△416	△4,976
その他の負債の増減額 (△は減少)	975	5,202
その他	201	447
小計	100,544	127,257
利息及び配当金の受取額	780	262
利息の支払額	△627	△366
子会社の再生債務返済による支出	△500	△475
法人税等の支払額	△43,046	△49,399
法人税等の還付額	6,990	4,651
営業活動によるキャッシュ・フロー	64,140	81,929
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	86	△944
有形固定資産の取得による支出	△7,220	△12,179
無形固定資産の取得による支出	△2,969	△2,365
敷金及び保証金の差入による支出	△6,159	△4,595
敷金及び保証金の回収による収入	1,902	4,082
建設協力金の支払による支出	△922	△836
建設協力金の回収による収入	1,602	1,674
預り保証金の受入による収入	336	219
預り保証金の返還による支出	△634	△475
関係会社株式の取得による支出	△14,977	—
貸付けによる支出	△692	—
その他	92	△633
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,558	△16,055

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成21年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	5,570	△2,929
長期借入れによる収入	6,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,508	△1,743
配当金の支払額	△14,213	△20,293
社債の償還による支出	△11,070	—
その他	102	△1,680
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,119	△26,647
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,861	△2,007
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	12,601	37,219
現金及び現金同等物の期首残高	169,888	169,574
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	82	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	182,572	206,793

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報
〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年9月1日 至 平成21年5月31日）

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める衣料品販売事業の割合が、いずれも90%を超えているため、事業の種類別のセグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日）

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める衣料品販売事業の割合が、いずれも90%を超えているため、事業の種類別のセグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年9月1日 至 平成21年5月31日）

	日本 (百万円)	欧州 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	481,275	28,661	27,088	537,025	—	537,025
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	28	307	639	975	(975)	—
計	481,303	28,969	27,728	538,001	(975)	537,025
営業利益（又は営業損失(△)）	94,790	△785	2,424	96,429	762	97,191

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。
欧州……………フランス、イギリス
その他の地域……中国、香港、韓国、シンガポール、北米

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日）

	日本 (百万円)	欧州 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	556,718	39,863	62,476	659,057	—	659,057
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	114	376	1,542	2,033	(2,033)	—
計	556,833	40,239	64,018	661,091	(2,033)	659,057
営業利益（又は営業損失(△)）	117,322	△615	7,645	124,352	△858	123,493

- (注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。
欧州……………フランス、英国
その他の地域……中国・香港、韓国、シンガポール、米国、ロシア

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年9月1日 至 平成21年5月31日）

	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	28,336	27,558	55,894
II 連結売上高（百万円）			537,025
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	5.3	5.1	10.4

- （注）1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
2. 各区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。
(1) 欧州……………フランス、イギリス
(2) その他の地域……中国、香港、韓国、シンガポール、北米
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日）

	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	39,411	63,351	102,762
II 連結売上高（百万円）			659,057
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	6.0	9.6	15.6

- （注）1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。
2. 各区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。
(1) 欧州……………フランス、英国
(2) その他の地域……中国・香港、韓国、シンガポール、米国、ロシア
3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

- （6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 部門別売上実績

部門	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成21年5月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日)		(参考) 平成21年8月期	
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)
メンズ	185,039	34.5	202,807	30.8	230,739	33.7
ウィメンズ	196,798	36.6	238,029	36.1	245,386	35.8
キッズ・ベビー	22,635	4.2	27,189	4.1	27,263	4.0
グッズ・その他	19,825	3.7	20,712	3.1	24,501	3.6
国内ユニクロ商品売上合計	424,298	79.0	488,739	74.2	527,890	77.1
F C 関連収入・補正費売上高	8,390	1.6	8,846	1.3	10,296	1.5
国内ユニクロ事業合計	432,689	80.6	497,585	75.5	538,187	78.6
海外ユニクロ事業	28,146	5.2	58,622	8.9	37,789	5.5
ユニクロ事業合計	460,835	85.8	556,208	84.4	575,976	84.1
国内関連事業	38,855	7.2	35,827	5.4	51,514	7.5
グローバルブランド事業	35,551	6.6	66,322	10.1	55,583	8.1
その他事業	1,783	0.3	699	0.1	1,967	0.3
合計	537,025	100.0	659,057	100.0	685,043	100.0

- (注) 1 F C 関連収入とは、フランチャイズ店に対する商品売上高、フランチャイズ店からのロイヤリティ収入であり、補正費売上高とは、パンツの裾上げ（補正）の加工賃及び刺繍プリントによる収入等であります。
- 2 ユニクロ事業とは、「ユニクロ」ブランドのカジュアル衣料品販売事業であります。
- 3 国内関連事業は、キャビン事業（「アンラシーネ」、「ザジ」ブランド等の国内における婦人向け衣料品販売事業）、ジーユー事業（「ジーユー」ブランドの衣料品販売事業）、靴事業で構成されております。
- 4 グローバルブランド事業は、コントワー・デ・コトニエ事業（「COMPTOIR DES COTONNIERS（コントワー・デ・コトニエ）」ブランドの国内・海外における衣料品販売事業）、プリンセス タム・タム事業（「PRINCESSE TAM. TAM（プリンセス タム・タム）」ブランドの欧州における衣料品販売事業）及びセオリー事業（「Theory（セオリー）」、「Helmut Lang（ヘルムート・ラング）」ブランド等の国内・海外における衣料品販売事業）で構成されております。なお、セオリー事業は前第3四半期連結会計期間より連結の範囲に含めているため、前第3四半期連結累計期間の売上実績には平成21年3月1日～平成21年5月31日（3ヶ月間）の売上高が含まれており、平成21年8月期の売上実績には平成21年3月1日～平成21年8月31日（6ヶ月間）の売上高が含まれております。
- 5 その他事業とは、不動産賃貸業等であります。
- 6 当第1四半期連結会計期間より、国内ユニクロ商品の一項目であるインナーの売上高をメンズ・インナーとウィメンズ・インナーに区分集計し、メンズとウィメンズの各項目に含めて表示しております。なお、前第3四半期連結累計期間及び平成21年8月期におけるメンズとウィメンズの各売上高及び構成比は、遡及修正した数値になっております。
- 7 上記金額には、消費税等は含まれておりません。